

平成 25 年度（4 月入学）

# 学 生 募 集 要 項

信州大学大学院理工学系研究科（修士課程）

〔推薦特別選抜〕

〔上田キャンパス〕

繊維・感性工学専攻  
機械・ロボット学専攻  
化学・材料専攻  
応用生物科学専攻



信州大学  
SHINSHU UNIVERSITY

## 信州大学大学院理工学系研究科の目的

質の高い教育研究を展開し、独創的な学術研究を推進するとともに、創造性豊かな優れた研究・開発能力を持つ研究者、高度な専門的知識・能力を持つ高度専門職業人及び環境調和社会・知識基盤社会を多様に支える高度で知的な素養のある人材を養成し、もって科学技術の進歩と地域社会、国際社会に貢献することを目的としています。

### 入学者受入方針（アドミッション・ポリシー） （私たちが求める学生像）

理工学系研究科では、本研究科の目的の下に、

1. 科学・技術の基礎的あるいは応用的研究に積極的に取り組む人
2. 世界をリードする科学・技術を担う研究者あるいは高度専門職業人を目指す人
3. 大学等において能動的に学び、一般教養及び専門分野の基礎学力を身につけている人を求めています。

#### ※ 個人情報の利用について

信州大学における入学者選抜を通して取得した個人情報については、入学者選抜のほか次の目的のために利用します。

- ① 入学手続
- ② 学籍簿の作成
- ③ 奨学金及び授業料免除等の審査資料
- ④ 入学者選抜方法及び大学教育改善のための調査・研究

なお、調査・研究及び結果の発表に際しては、個人が特定できないように処理します。

## 1. 専攻別募集人員及び試験場

専攻名	募集人員	試験場
繊維・感性工学	17人	上田キャンパス (信州大学繊維学部) 上田市常田3-15-1
機械・ロボット学	14人	
化学・材料	30人	
応用生物学	6人	

## 2. 出願資格

出願できる方は、それぞれの分野の専門教育を受け、学業成績が優秀で人物・健康状態ともに良好であり、出身大学等の学長等から推薦され若しくは自己推薦により出願し、かつ、合格した場合は必ず入学できる方で、次の各号のいずれかに該当する方とします。

- (1) 大学（修業年限4年以上）を平成25年3月までに卒業見込みの方
- (2) 学校教育法第104条第4項の規定により平成25年3月までに学士の学位を授与される見込みの方

## 3. 出願手続

- (1) 出願期間及び書類提出先

- ① 出願期間

平成24年6月8日（金）から6月15日（金）まで。

受付時間は、8時30分から17時までとし、土曜日及び日曜日は受け付けません。

郵送の場合は、6月15日（金）17時までに到着したものを受け付けます。

- ② 書類提出先

〒386-8567 上田市常田3-15-1

信州大学繊維学部内 信州大学大学院理工学系研究科入試事務室

Tel 0268-21-5304

- (2) 出願方法の注意事項

出願書類等を郵送する場合は、「書留速達郵便」とし、封筒の表に『大学院修士課程推薦特別選抜願書在中』と朱書してください。

(3) 出願書類等

出 願 書 類 等	備 考
①入 学 志 願 票 受 験 票 写 真 票	この募集要項に添付する用紙に必要事項を記入してください。 出願前3か月以内に撮影した正面、無帽、上半身、背景なしの写真（縦4cm×横3cm）を、裏面に氏名を記入のうえ、指定欄に貼ってください。
②成 績 証 明 書	出身大学等の学長又は学部長（大学以外は出身学校長）が作成し、厳封したものとします。 また、編入学をされた方は、編入学前の学校の成績証明書も同様の方法により、併せて提出してください。
③入学検定料納付確認書（A票）	(ア) 入学検定料30,000円をこの募集要項に添付する振込依頼書（C票）を使用して、平成24年6月1日から平成24年6月15日までの間に金融機関から「電信扱い」で振り込んでください。振込みには、別途振込手数料が必要です。なお、郵便局（ゆうちょ銀行）からの振込みはできません。また、ATM（現金自動預支機）、携帯電話及びパソコンからの振込みは行わないでください。 (イ) 振込み後、納付確認書（A票）及び領収書（B票）を受け取り、A票、B票の所定欄に金融機関の収納印があることを確認し、納付確認書（A票）を提出してください。 また、「取扱銀行収納印」欄に、出願期間最終日までの収納印があるものだけに限り有効となりますので、特に出願期間最終日に振り込まれる場合には、金融機関の窓口での受付時間を確認のうえ、行ってください。 (ウ) 出願期間最終日に持参により提出する方で、金融機関の窓口業務取扱時間内に振込みができなかった方に限り、現金による納付を受け付けます。 (注) 受験時に国費外国人留学生の方は、検定料は不要です。
④卒業見込証明書	出身大学等の学長又は学部長（大学以外は出身学校長）が作成したものを提出してください。
⑤推 薦 書	この募集要項に添付する用紙に出身大学等の学長、学部長（大学以外は出身学校長）、学科長又は指導教員が作成し、厳封したものを提出してください。 ただし、推薦が得られない場合は、自己をアピールする事柄を記入してください。
⑥受験票送付用封筒	長形3号（12cm×23.5cm）の封筒を用意して、郵便番号、住所及び氏名を明記し、350円分の切手（速達料を含む。）を貼ってください。
⑦そ の 他	ア. 日本国籍を有しない方は、パスポートの顔写真のページ（国籍が明記されているページを含む。）の写しを提出してください。また、日本国内から出願される方は、併せて最新在留資格・期間の証印添付のページの写しも提出してください。 イ. 本学以外の大学に在学している国費外国人留学生の方は、大学の発行する国費外国人留学生証明書を提出してください。 ウ. 「2. 出願資格」(2)により出願する方で、学士の学位を授与された方は、学士の学位授与証明書（大学評価・学位授与機構が発行したもの）を、学士の学位を授与される見込の方は、学士の学位授与申請予定証明書（在籍学校長が発行したもの）、又は学位授与申請受理証明書（大学評価・学位授与機構が発行したもの）を添付してください。

4. 入学者選抜方法及び期日

入学者の選抜は、面接試問及び出願書類の審査の結果を総合して行います。

日 時：平成24年7月2日（月）10時～

試験場：上田キャンパス（信州大学繊維学部）上田市常田3-15-1

専攻名	コース名	検査方法
繊維・感性工学	先進繊維工学	面接試問
	感性工学	
機械・ロボット学	—	
化学・材料	応用化学	
	材料化学工学 機能高分子学	
応用生物科学	—	

## 5. 合格者発表

下記期日に上田キャンパス（信州大学繊維学部）掲示板に掲示するとともに、合格者には合格通知書を送付します。

平成24年7月12日（木）16時

## 6. 入学確約書

選抜試験の合格者は、平成24年7月31日（火）までに、理工学系研究科長あて「入学確約書」（用紙は合格通知書と併せて送付します。）を「3. 出願手続」に記載の「書類提出先」に提出してください。

## 7. 入学手続及び納付金

合格者は、入学料を納入するとともに入学手続期間内に必要な書類を提出してください。

入学手続に必要な書類等は、入学確約書を提出した方に対して、平成25年2月に改めて通知します。

### (1) 入学手続期間

平成25年3月6日（水）～平成25年3月12日（火）

8時30分から17時まで 土曜日及び日曜日は受け付けません。

郵送による場合は、平成25年3月12日（火）17時までに必着とします。

### (2) 入学手続場所

「3. 出願手続」に記載の「書類提出先」と同じです。

### (3) 納付金の納入等

#### ① 納付金（入学料・授業料）の額

ア 入学料 282,000円

イ 授業料（前期）267,900円（後期）267,900円

（注）金額は平成24年4月現在のものです。入学時及び在学中に入学料・授業料が改定された場合には、改定時から新入学料・新授業料が適用されます。納付金の額及び納付の方法については、入学手

続書類等送付時に通知します。

- ② 既納の入学料は、どのような理由があってもお返しできません。
- ③ 入学料・授業料の納入が著しく困難な方には、免除制度、徴収猶予制度及び月割分納制度がありますので、希望される方は、入学手続き書類送付時に同封される入学料免除・授業料免除等に関する書類をよく読んだうえで、願い出てください。

## 8. 注 意 事 項

- (1) 出願書類に不備があるものは、受理しません。
- (2) 出願手続後の書類の変更は、認めません。
- (3) 受理した出願書類及び入学検定料は、どのような理由があってもお返しできません。
- (4) 出願書類に虚偽の記載があった場合には、合格を取り消します。
- (5) 面接試問には、必ず受験票を携帯してください。
- (6) 出願後、「受信場所」に変更があった場合は、直ちに「3. 出願手続」に記載の「書類提出先」に届け出てください。

## 9. 障害がある方の事前相談

この募集要項により本研究科に入学を志願する方で、障害がある方は、受験上及び修学上特別な配慮を必要とすることがありますので、平成24年6月1日（金）17時までに必着で「3. 出願手続」に記載の「書類提出先」に書面（出願希望専攻（コース）、障害の内容・程度、受験上・修学上配慮を希望する事項、日常生活の状況等を記載したもの）により相談してください。

なお、障害の内容がわかる書類（障害者手帳の写し、医師の診断書等）を提出していただく場合もあります。

## 10. 一般選抜への出願

推薦特別選抜に不合格となった方は、一般選抜に出願することができます。

## 11. そ の 他

### (1) 修了の認定及び学位

本研究科修士課程に2年以上在学し、各専攻の所定科目について30単位以上を修得し、かつ、学位論文の審査及び最終試験に合格した方には、修士の学位（工学、農学）が授与されます。

### (2) 奨学金

日本学生支援機構から奨学金の貸与を希望する方は、選考のうえ、奨学生に採用されます。

### (3) 学生募集要項の郵送を希望する方は、返信用封筒（角形2号（33cm×24cm）の封筒に、請求者の郵便番号、住所及び氏名を明記し、240円分の切手を貼ったもの）を、別の封筒（表に『大学院修士課程学

生募集要項〔推薦特別選抜〕請求』と朱書きしたもの)に入れて、「3. 出願手続」に記載の「書類提出先」に請求してください。

(4) 入学試験に関する照会は、「3. 出願手続」に記載の「書類提出先」に問い合わせてください。

信州大学大学院理工学系研究科

修士課程概要

(上田キャンパス)

専攻名	コース名	内 容
織 維 ・ 感 性 工 学	先進繊維工学	天然及び合成高分子の構造と物性。高含水・高弾性ゲル及び高弾性エンジニアリングプラスチックの構造と繊維化 繊維及び繊維集合体である糸・布の加工過程の解析と計算機シミュレーション，複合紡績糸織の開発，画像処理による布の表面構造の解析
		繊維生成過程に関わる統計理論の構築とその応用，具体的には蚕の営繭行動の統計モデル構築，繊維生成工程の管理，製品の品質，寿命の解析 動的システムの数学的モデルとその解析，特に特徴抽出機能及びパターン認識機能を持つ並列分散ネットワークの設計開発
		ファイバオプティクスによる物理量と化学量センサ・レーザ光による目視検査システムの開発，超小型光集積回路の作製とセンサ及び光学デバイスへの応用，繊維・工業製品の快適性の計測と人間工学の応用による解析，電子計算機による制御，情報処理システムの構築方法，分光計測の繊維・工業製品への応用
	感 性 工 学	人が外界から情報を取得するメカニズムを分子，遺伝子，タンパク質，細胞，神経活動，脳，生体反応のレベルで解明し，感性の成立過程を理解し，製品に生かすべき感性の計測手法を開発するための教育と研究
		感性の文化的背景を組み込んで，感性の定量的表現を行い，色感，触感，存在感，生き生き感など，様々な感性の相関を探り，感性を総合的にとらえ，表現する方法を情報処理技術を駆使して確立するための教育と研究
		感性を製品に生かし，表現する方法を編み出し，感性の生きた製品を作り上げる技術を開発し，感性製品が人の手に渡りやすくする流通手段を確立するための教育と研究
機 械 ・ ロ ボ ツ ト 学	—	繊維及び粒子強化複合材料・構造体の設計と応用化技術，傾斜機能・シナジ機能材料の創製と評価，破壊と寿命予測，微視・巨視相関解析，環境応答性とリサイクル技術，知能材料とスマート構造体の開発，ナノテクノロジーによる機能発現（遮音機能，振動減衰機能，自己修復機能等々），ナノファイバーの創成と応用，カーボンナノチューブの振動・液体輸送解析
		各種ロボットの開発（搾乳ロボット，超伝導織機，手紡ぎロボット，身障者リハビリシステムなど），マイクロマシン（圧電体を用いた小型移動機構，極細繊維の力学評価システム，鉛フリー圧電デバイスなど），計測と制御技術（柔軟物の高機能ハンドリングと運動制御，生体の電気・電子計測，活性炭素繊維など），新世代自動車システム開発（ソーラーカー，燃料電池カー，フォーミュラカーなど）
		環境浄化技術の開発，二重拡散対流の流動と伝熱，吸収式ヒートポンプにおける吸収促進技術，熱流体数値解析，熱物性値の簡易測定法，エネルギー工学および各種先端技術における伝熱制御，流れの可視化技術，沸騰，凝縮，相変化を伴う熱流動，二相流，マイクロ伝熱流動，火力・原子力発電

<p>機 械 ・ ロ ボ ツ ト 学</p>	<p>—</p>	<p>硬骨魚の鰭の再生機構の解析，骨の形と大きさを決める仕組みの解明，精子の鞭毛運動の制御機構の解明，三次元医用画像情報に基づく患者別力学シミュレーション，X線CT画像の精度向上による診断・検査技術の改良，セルオートマトンモデルによる力学構造物の生成シミュレーション</p> <p>イルカの遊泳挙動の解析，イルカの尾びれの力学的特性，イルカの尾びれ型振動翼推進機の開発，陸棲軟体動物の腹足推進メカニズムの解明，腹足移動機構の移動用福祉機器への応用，アテローム性動脈硬化症による動脈硬化斑の力学的な崩壊メカニズムの解明，動脈病変部における血栓の生成とその成長による閉塞の流体力学からのアプローチ，データグループや筋電図を用いたヒトの手指の運動解析</p> <p>生物の遊泳のメカニズムからインスピレーションを得たロボットの開発，ヒトの筋骨格系の解剖学的構造に示唆を得たロボットフィンガーの開発，ヒトの筋協調に着目した筋骨格5指ロボットハンドのシナジー制御，人工筋肉（空気圧・水圧駆動アクチュエータ）を用いたヒトに優しいロボットの開発，人の感情を読み取って癒しを与えるコミュニケーションロボットの研究，生物のリズム運動の仕組みに学んだウェアラブル・ロボティクスツの開発，高分子ゲルや細胞培養技術を用いた人工筋肉の創製</p>
<p>化 学 ・ 材 料</p>	<p>応用化学</p>	<p>過去の試験問題を公開しています。詳細は下記のインターネットホームページをご覧ください。</p> <p><a href="http://pmacl03.shinshu-u.ac.jp">http://pmacl03.shinshu-u.ac.jp</a></p> <p>グラファイト，フラーレン，カーボンナノチューブ，ナノダイヤモンドなどナノ炭素系材料の構造と物性制御・機能発現，それらのエネルギーデバイス，ナノベアリング，高強度複合材料等への応用，フッ素化学を駆使した機能性無機材料の創製等に関する研究</p> <p>分子設計にかかわる量子化学・計算化学の基礎理論や手法の展開，並びにその応用に関する研究</p> <p>有機光化学，特に化学発光の基礎的研究と機能付与によるセンシングへの応用および機能性ケイ光分子の開発，シクロプロパンの特徴を活かした合成反応の開発，見出した新規反応を鍵反応とする生理活性天然物の全合成，原子および官能基の性質に着目した小分子不斉有機触媒のデザインと合成，創出した新規触媒の高選択的不斉官能基変換，不斉炭素炭素結合形成反応への応用等の研究</p> <p>コロイダルシリカ，有機ポリマー系微粒子，ハイドロゲル微粒子のフォトニッククリスタルをめざしたコロイド結晶化技術の開発，高分子ゲルおよび結晶の高強度材料・自律応答材料・エネルギー変換材料等への応用と機能開発の研究</p> <p>ボラ型電解質やジェミニ界面活性剤の合成とそれらの染色助剤や廃液処理剤への応用，微視的環境プローブの開発，繊維のナノ機能加工，界面活性剤分子集合体・高分子等の機能，有機無機複合型ナノ粒子・ナノファイバーの開発と機能開発の研究</p> <p>機能性高分子ナノ微粒子の開発・評価・応用，界面現象・LB膜に関する基礎研究</p>
	<p>材料化学工学</p>	<p>過去の試験問題を公開しています。詳細は下記のインターネットホームページをご覧ください。</p> <p><a href="http://seimitsu.shinshu-u.ac.jp/graduate-school/">http://seimitsu.shinshu-u.ac.jp/graduate-school/</a></p> <p>超微粒子・薄膜・繊維・ファインセラミックスなどの形態制御と機能設計，燃料電池・キャパシタ・太陽電池などエネルギー材料の開発，電子・光・触媒・生物などが関与する新しい機能材料の創出，新しい製造プロセス・装置の開発，システムの評価手法の確立</p> <p>数理的な手法および実験による各種材料の物性解明，量子効果をはじめとする物性に関する複雑な現象の体系化，電磁波利用による物性と応用研究，繊維・高分子・無機-有機ハイブリッド材料の開発と物性解明と応用，界面設計による新規材料の創出と物性解明</p>

化学 ・ 材 料	機能高分子学	<p>ナノファイバーを用いた生医学材料の展開，幹細胞を用いた臓器創成工学へのアプローチ，タンパク質，多糖類などの天然高分子材料を素材として用いた生医学材料の開発，生物繊維原料タンパク質に関する生化学</p>
		<p>超分子化学に基づく新規ゲル化剤や増粘剤の開発，ゲル化機構の解明，ゲル化剤・増粘剤の化粧品などへの応用，異種素材（ナノ材料）との組み合わせによる繊維の高機能化（高強度化）・高機能化（導電化，抗菌付与など），イオンや物質の透過を制御する機能高分子膜・マイクロメタルテキスタイル・カーボンナノファブリックの開発と応用，薄型軽量燃料電池の開発</p>
		<p>人工筋肉を目指した高速大変形高分子アクチュエータの開発，高分子材料の電場・磁場応答性に関する研究，化学分解性を有する環境低負荷型機能性有機材料の開発，光機能性有機材料の開発，新しい機能高分子，高分子錯体の分子設計と合成，機能の応用，生体内機能錯体のバイオミメティックスによる機能繊維の開発，低分子化合物の自己集合を利用した機能性材料の開発・機能評価・応用についての研究</p>
		<p>太陽電池等の電子材料に応用可能な新規液晶物質の合成と物性，特にディスコティック液晶物質のカラムナー相における自発的配向制御と有機薄膜太陽電池への応用，有機ELや有機トランジスタ，有機太陽電池などの材料科学とデバイス応用に関する研究，糖類を構成要素とする超分子材料を用いた機能性材料の開発，多糖類由来ナノウィスカー（微結晶）をフィラーとして用いた複合材料の開発</p>
応 用 生 物 科 学	—	<p>植物オルガネラ（液胞・葉緑体）機能解析と閉鎖系での植物生産システム</p>
		<p>生体組織を原材料としたセルフリサイクル型医用材料の研究開発と応用</p>
		<p>環境化学分野（環境分析，毒性評価法および環境浄化法など）</p>
		<p>ゲノム情報や遺伝子機能解析による植物の遺伝的改良の効率化</p>
		<p>陸水生態学，環境衛生学。ヒトの健康と水環境の保全に関する研究</p>
		<p>植物の二次代謝酵素・遺伝子機能の解析と代謝制御，物質生産等への応用</p>
		<p>生体内タンパク質合成機構の解明及び有用タンパク質資源の探索・応用化</p>
		<p>昆虫の季節的な発生可塑性の分子解析と応用技術の開発</p>
		<p>細菌のバイオフィーム形成と表層ストレス応答機構の研究</p>
		<p>昆虫生体高分子の新しい利用技術の開発を目指した研究</p>
		<p>有用微生物の探索と利用，生物工学的手法を用いた有用菌株の分子育種</p>
		<p>枯草菌およびその類縁菌に関するゲノムレベルでの応用微生物学的研究</p>
		<p>哺乳動物における遺伝資源保存ならびに生殖工学技術に関する研究</p>
		<p>植物分子生物学に立脚した作物の形態や耐病性などの性質の改善</p>
		<p>食糧・エネルギー問題解決への貢献を目指した植物科学の基礎・応用研究</p>
		<p>家蚕・野蚕の遺伝資源の収集・保存と新規実用系統の育成に関する研究</p>
		<p>遺伝子工学を用いた，より役に立つ植物や微生物を作るための研究</p>
		<p>蛋白質工学（有用蛋白質開発応用），構造生物学（蛋白質構造機能解析）</p>
<p>昆虫の環境応答機構に関する分子生理学的研究</p>		
<p>家蚕や桑・綿など各種繊維動植物の生物機能を主に生化学的立場から解明</p>		
<p>核酸やタンパク質などの機能構造解析・相互作用のメカニズム解析と応用</p>		

推薦特別選抜

推薦特別選抜

平成25年度 信州大学大学院理工学系研究科  
修士課程入学志願票

受験番号	※		志望専攻	専攻		
フリガナ						
氏名 (自国語)			繊維・感性工学専攻及び化学・材料専攻の志望者は、下の欄にコース名も記入			
ローマ字	(外国人のみローマ字も記入)		志望コース	コース		
生年月日	昭和・平成・西暦 年 月 日 ( 歳) 男・女 (外国人の場合は西暦で記入)	希望指導教員氏名	☆) 予め希望指導教員の了承を得て、必ず記入してください。			
国籍	(外国人のみ記入)		卒業研究等現在の指導教員	(信州大学の在籍者のみ記入)		
出願資格	国立 公立 私立	大学	学部	課程 学科		
	昭和・平成・西暦 年 月 (卒業見込み・卒業)					
現住所 (本人 受信場所)	〒 ー		住所			
	電話 ( ) - ( ) - ( )					
緊急時の 連絡先	〒 ー		住所			
	電話 ( ) - ( ) - ( )		氏名	本人との関係		
履 歴 書						
	年 月 (外国人の場合は西暦で記入)	修年 業限	事 項	入学・卒業等		
学 歴 <small>高等学校から入学から記入すること。ただし、外国人は小学校から記入すると、修業年限も記入すること。</small>	昭和・平成・西暦 年 月	年	小学校	入学		
	昭和・平成・西暦 年 月		小学校	卒業		
	昭和・平成・西暦 年 月	年	中学校	入学		
	昭和・平成・西暦 年 月		中学校	卒業		
	昭和・平成・西暦 年 月	年	高等学校	入学		
	昭和・平成・西暦 年 月		高等学校	卒業		
	昭和・平成・西暦 年 月	年	大学	学部	系・学科	入学
	昭和・平成・西暦 年 月		大学	学部	課程 学科	卒業見込み 卒業
昭和・平成・西暦 年 月	年	大学	学部	研究生	入学	
昭和・平成・西暦 年 月		大学	学部	研究生	修了見込み 修了	
職 歴	昭和・平成・西暦 年 月				入社	
	昭和・平成・西暦 年 月		同	上	現在に至る 退社	
賞 罰	昭和・平成・西暦 年 月					

- 注意 1) ※印の欄は記入しないでください。  
 注意 2) 繊維・感性工学専攻及び化学・材料専攻の志望者は、コース名を記入してください。  
 注意 3) 裏面の記入上の注意事項を読み、記入してください。

平成25年度 信州大学大学院理工学系研究科  
修士課程

受 験 票

受験番号	※
志望専攻	専攻
フリガナ	
氏名	

写真貼付欄  
(縦4cm×横3cm)  
写真の裏面に氏名を記入  
(全面のりつけ)

(切り取らないこと)

(切り取らないこと)

推薦特別選抜

平成25年度 信州大学大学院理工学系研究科  
修士課程

写 真 票

受験番号	※
志望専攻	専攻
フリガナ	
氏名	

写真貼付欄  
(縦4cm×横3cm)  
写真の裏面に氏名を記入  
(全面のりつけ)

## 入学志願票等記入上の注意事項

### ◎全般について

1. 黒か青のボールペン又はインクで記入してください。
2. ※印の欄は記入しないでください。

### ◎各欄の記入について

#### 1. 現住所〔本人受信場所〕

出願時から入学時まで、確実に受信できる場所を明記してください。なお、出願後に変更が生じた場合は、受験番号、氏名、志望専攻（コース）名を明記のうえ、届けてください。

#### 2. 履 歴 書

(1) 学歴欄は、高等学校入学から記入してください。ただし、外国人の方は、小学校入学から記入するとともに、修業年限の欄も記入してください。

(2) 学歴欄の「卒業見込み・卒業」、「修了見込み・修了」及び職歴欄の「現在に至る・退社」については、該当するものを○で囲んでください。

(3) 研究生歴のある方は、その旨を記入してください。

#### 3. 受験票・写真票

受験時に眼鏡を使用する場合は、必ず眼鏡使用の写真を貼ってください。

受験 番号	※
----------	---

## 推 薦 書

平成 年 月卒業見込

被推薦者氏名  
昭和・平成・西暦 年 月 日生

上記の者を、貴研究科が実施する推薦特別選抜の条項に該当する者と認め、  
専攻（コース）に責任をもって  
推薦いたします。

平成・西暦 年 月 日

信州大学大学院理工学系研究科長 殿

大学・学部名  
職 名  
推薦者氏名

印

記載教員名 (必ず押印願います)	印	被推薦者との関係
1. 学 業		
2. 人 物		
3. 課外活動, 特技, 趣味等特記すべき事項		

- (注) 1. ※印の欄は記入しないでください。  
2. 記入欄が不足した場合は、別紙に記載してください。

記入例

- (注意) 1. 太枠内に日付, 住所, 氏名等を記入してください。  
 2. 郵便局 (ゆうちょ銀行) を除く金融機関の窓口から振り込んでください。(ATM, パソコン, 携帯電話等からの振込みは行わないでください。)  
 3. 金額を訂正したもの, 鉛筆書きしたもの, 金融機関の収納印がないものは無効となります。  
 4. 振込み後, 納付確認書 (A票) 及び領収書 (B票) を受け取り, A票, B票の所定欄に金融機関の収納印があることを確認してください。  
 5. 入学検定料納付確認書 (A票) は他の出願書類とともに提出してください。

日付, 氏名, 住所を記入してください。  
大学への提出用となります。

A票 (大学提出用) 平成25年度 入学検定料納付確認書

依頼日	平成24年	○月	○日	学部コード	F	4
フリガナ	シン シュウ タロウ					
志願者氏名	信州太郎					
住所	〒123-4567 長野県〇〇市〇〇1-2-3 TEL 1234-56-7890					

1. 金融機関 (郵便局 (ゆうちょ銀行) を除く) の収納印がない場合は無効となります。  
 2. 金額を訂正したもの, 鉛筆書きは無効となります。

下記のとおり入学検定料として納付いたしました。

金額	千	円
¥30000	0	0

銀行  
支店



信州大学

(振込み後, 自分で切り離してください。)

(大切に保管してください)

B票 (志願者保管用) 平成25年度 入学検定料領収書

依頼日	平成24年	○月	○日	学部コード	F	4
フリガナ	シン シュウ タロウ					
志願者氏名	信州太郎					
住所	〒123-4567 長野県〇〇市〇〇1-2-3 TEL 1234-56-7890					

振込み後, 金融機関の収納印があることを確認してください。

1. 金融機関 (郵便局 (ゆうちょ銀行) を除く) の収納印がない場合は無効となります。  
 2. 金額を訂正したもの, 鉛筆書きは無効となります。

下記のとおり入学検定料として領収いたしました。

金額	千	円	手数料	円
¥30000	0	0		0

銀行  
支店



信州大学

日付, 氏名, 住所を記入してください。  
領収書ですので, 大切に保管してください。

(銀行で切り離してください。)

電信扱

平成25年度 振込依頼書 (取扱店保存)  
 入学検定料 銀行振込期間 平成24年6月1日~平成24年6月15日

勘定科目	*
------	---

取扱銀行へ  
お願い

学部コード(2桁)は氏名頭部に連続して打電してください。なお、姓と名の間は1マス空けて打電してください。

依頼日	平成24年	○月	○日	振込指定	普通	1752813	金額	¥30000	
振込先銀行	みずほ銀行 松本支店			口座名	コクリツダイガクハウジンシンシュウダイガク			現金	
受取人	国立大学法人信州大学			学部コード(2桁)	志願者氏名(カタカナ)			内訳	
	F 4				シンシュウ タロウ				当店券
	志願者氏名(漢字)				信州太郎				他店券
	〒123-4567 長野県〇〇市〇〇1-2-3 TEL 1234-56-7890								

カタカナで氏名を記入してください。

氏名, 住所を記入してください。



C票

信州大学

A 票 (大学提出用) 平成25年度 入学検定料納付確認書

依頼日	平成 年 月 日	学部 コード	F	4
フリガナ 志願者氏名				
住所	〒			
	TEL - -			

1. 金融機関（郵便局（ゆうちょ銀行）を除く）の収納印がない場合は無効となります。
2. 金額を訂正したもの、鉛筆書きは無効となります。



下記のとおり入学検定料として納付いたしました。 \_\_\_\_\_ 銀行

金額	千	円
¥ 3 0 0 0 0		

\_\_\_\_\_ 支店

信州大学

(振込み後、自分で切り離してください。)

B 票 (志願者保管用) 平成25年度 入学検定料領収書 (大切に保管してください)

依頼日	平成 年 月 日	学部 コード	F	4
志願者氏名				
住所	〒			
	TEL - -			

1. 金融機関（郵便局（ゆうちょ銀行）を除く）の収納印がない場合は無効となります。
2. 金額を訂正したもの、鉛筆書きは無効となります。



下記のとおり入学検定料として領収いたしました。 \_\_\_\_\_ 銀行

金額	千	円	手数料	円
¥ 3 0 0 0 0				

\_\_\_\_\_ 支店

信州大学

(銀行で切り離してください。)

電信扱

平成25年度  
入学検定料

振込依頼書 (取扱店保存)

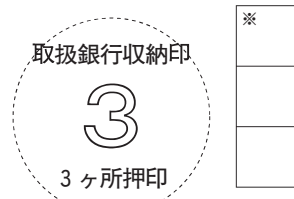
勘定科目	*
------	---

銀行振込期間  
平成24年6月1日～平成24年6月15日

取扱銀行へ  
お願い

学部コード(2桁)は氏名頭部に連続して  
打電してください。なお、姓と名の間は1  
マス空けて打電してください。

依頼日	平成 年 月 日	振込指定	電信扱	手数料	円
受	振込先 銀行	みずほ銀行 松本支店	普通 1 7 5 2 8 1 3	金額	¥ 3 0 0 0 0
取	口座名	コクリツダイガクホウジンシンシュウダイガク		現金	
人		国立大学法人信州大学		当店券	
ご依頼人	学部コード(2桁)	志願者氏名(カタカナ)		他店券	
	F	4			
	志願者氏名(漢字)				
	住所	〒			
	TEL - -				



C 票

信州大学

〒386-8567

上田市常田3-15-1

信州大学繊維学部内

信州大学大学院理工学系研究科

入試事務室

Tel 0268-21-5304